

用語	意味	「語源・由来」解説
おはよう	<p>おはようとは、お早く（おはやく）である。 この「お早く」が転じて「おはよう」となった。 「おはよう」と「こんにちは」の境目は、午前11時だとのこと。</p>	<p>「おはよう」はその日初めて会った人に言うことから、一部の業界では夜でも人に会った時の挨拶として使われている。</p>
こんにちは	<p>こんにちはとは、日中、人に会ったり、人を訪問した時の挨拶の言葉。こんにちはと書くのは間違い。「こんにちは」と「こんばんは」の境界線（境目）の目安は日没です。 日没以後が「こんばんは」ですね。ただ日本列島は縦に長いし、季節によっても違うので便宜上平均的に考慮して午後5時を基準にしているとのこと。</p>	<p>こんにちはの語源は、「今日のご機嫌いかがですか？」などの「今日は」。「今日は」以下を略すようになり「こんにちは」となった。 「こんにちは」を「こんにちわ」と誤表記される理由は、多々あるが「は」と書く「わ」よりも「和」に通じて親しみやすい印象を受けることから、誤表記と知りつつ、あえて「こんにちは」を「こんにちわ」と表記されることもある。しかしある程度の年齢以上の人（だいたい1970以前に生まれた人）が解らない理由は、昭和61年に内閣から新しい現代語仮名遣いが告知されるまで、「こんにちは」については「こんにちわ」の表記が正しいとされていたため、「こんにちは」と「こんにちわ」のどちらで「は」を用いるか解らなくなってしまったものと考えられる。また「は」と書くより「わ」の方が「和」に通じて親しみやすい印象を受けることから、誤表記と知りつつ、あえて「こんにちは」を「こんにちわ」と表記されることもある。</p>
こんばんは	<p>こんばんはとは、日が暮れてから、人に会ったり、人を訪問した時の挨拶の言葉。こんばんわと書くのは間違い。</p>	<p>こんばんはの語源は「こんばんは〇〇ですね」の「今晚は」。「今晚は」以下を略すようになり「こんばんは」となった。 (こんにちは同様解釈)</p>
さようなら	<p>さようならとは、わかれるときの挨拶の言葉。</p>	<p>さようならの語源は、「然様[左様]ならば失礼・御免」などの「然様ならば・左様ならば（さやうならば）」の「ば」と「失礼・御免」などの後続く語が略され、挨拶になった語。現在で別れ際に言う「それならば、じゃあ、そういうことで」のようなもので「さやうならば（さようならば）」は、「それならば」を意味する。</p>
ただいま	<p>ただいまとは、帰宅した時の挨拶の言葉。</p>	<p>ただいまは、「只今帰りました」を略した語。 「只今（ただいま）」は「今」を強めた語。</p>